



2021年3月期
決算説明会

東京インキ株式会社

(証券コード：4635)

2021年6月22日開催

1. 東京インキについて
2. 連結業績ハイライト
3. セグメントの概況
4. 株主還元情報
5. 次期業績予想
6. 中期経営計画について



TOKYOink

innovative = 革新的な
impact = インパクトのある
idea = アイデア
intellectual = 高い知性/知識を備えている
interesting = 好奇心を起こさせる
inspire = 人を奮い立たせる
infinite = 無限
invention = 新たに考え出す
imagine = 想像する 思い浮かべる

東京インキは2016年に始動した経営計画「TOKYOink 2020」に合わせ、従来の日本語表記のロゴに加え、新しい英語ロゴを作成しました

「i」を人に見立て、人に優しい企業、人に優しいものづくり、人を大切にする会社でありたいとの願いが込められています
また、この「i」には他にもさまざまな意味が込められています

くらしに豊かな色を

くらしを支える確かな製品をお届けします

■ 1. 東京インキについて

2. 連結業績ハイライト

3. セグメントの概況

4. 株主還元情報

5. 次期業績予想

6. 中期経営計画について

> 会社概要

> ネットワーク

> 暮らしの中の東京インキ

> 基本理念

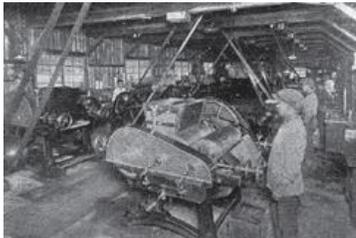
会社名

東京インキ株式会社

代表取締役社長

堀川 聡

設立 97周年



上場区分 (証券コード)

東京証券取引所市場第二部 (4635)

本社住所

東京都北区王子一丁目12番4号TIC王子ビル

設立

1923年 (大正12年) 12月

資本金

32億4,612万円

主要な事業

- **インキ事業** 【主要製品】 オフセットインキ/グラビアインキ/インクジェットインク
- **化成品事業** 【主要製品】 着色剤マスターバッチ/機能性付与添加剤マスターバッチ/着色コンパウンド/機能性コンパウンド
- **加工品事業** 【主要製品】 ネットロン/一軸延伸フィルム/土木資材/農業資材
- **不動産賃貸事業** 北区王子本社ビル フロア賃貸/
埼玉県さいたま市戸建賃貸住宅「パレットパークタウン」 ほか

従業員数

(連結) 730人 / (単体) 598人

支店 営業所

札幌営業所
仙台営業所
新潟営業所
名古屋支店
大阪支店
広島営業所
高松営業所
福岡支店

工場

吉野原工場
羽生工場
土岐工場
大阪工場
福岡工場

吉野原工場



羽生工場



土岐工場

大阪工場



福岡工場

本社



連結 子会社

林インキ製造株式会社
荒川塗料工業株式会社
英泉ケミカル株式会社
ハヤシ化成工業株式会社
トーイン加工株式会社
東洋整機樹脂加工株式会社

海外拠点

東京インキ(タイ)



東京インキ株式会社U.S.A.
東京油墨貿易(上海)有限公司
東京インキ(タイ)株式会社



主要製品

オフセットインキ

グラビアインキ

インクジェットインク



3 すべての人に健康と福祉を

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

暮らしの中で…

商業印刷



・新聞の折り込みチラシや雑誌、カタログの印刷に

パッケージ



・お菓子袋やトレーなどの食品包装に

住宅外壁



・住宅外壁の意匠に

主要製品

着色剤マスターバッチ

機能性付与添加剤マスターバッチ

着色コンパウンド

機能性コンパウンド



暮らしの中で…

生活用品



・シャンプーボトルやペットボトルのキャップなどの容器、ショッピングバッグの着色に

自動車



・自動車内外装の着色に

農業



・農業資材の着色や機能性付与に



主要製品

ネトン

一軸延伸フィルム

土木資材

農業資材



暮らしの中で…

包装資材



・お菓子や野菜・果物の包装に

土木資材



・道路の落石や土砂崩れ防止に

水処理



・水処理用資材に

農業資材



・ハウス部材に

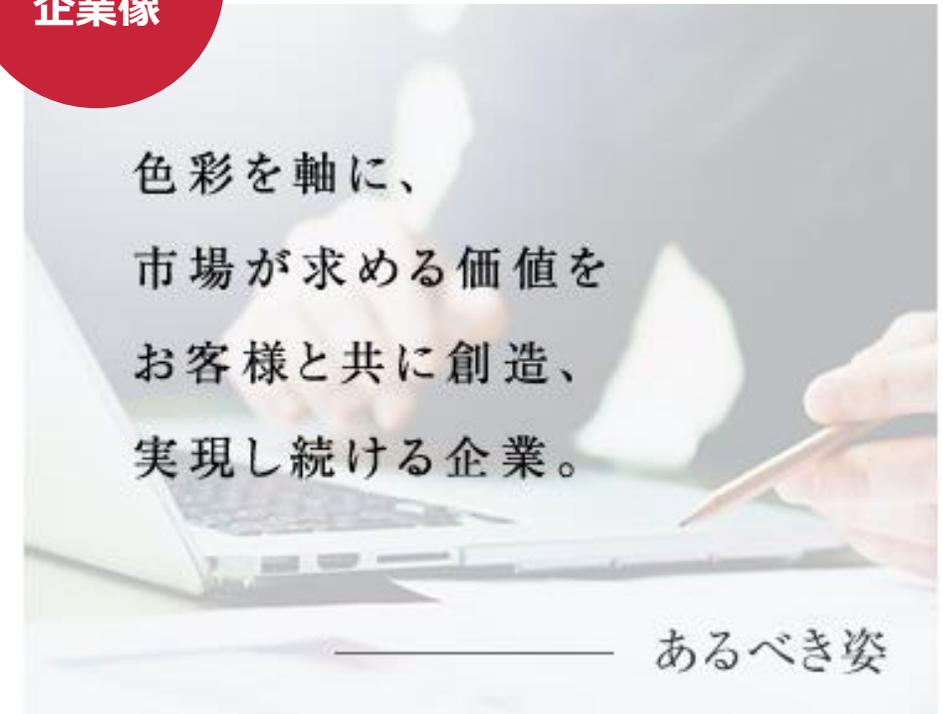
企業理念



暮らしを彩る、
暮らしに役立つ
ものづくりで、
社会に貢献する。

——— ありたい姿

目指すべき 企業像



色彩を軸に、
市場が求める価値を
お客様と共に創造、
実現し続ける企業。

——— あるべき姿

人々の暮らしをより快適に、便利に、安全に。
地球に優しく。
豊かな暮らしと社会の発展に広く貢献する企業でありつづけます。

1. 東京インキについて

■ 2. 連結業績ハイライト

3. セグメントの概況

4. 株主還元情報

5. 次期業績予想

6. 中期経営計画について

- > 21年3月期 連結業績ハイライト
- > 21年3月期 四半期業績（前年対比）

2021年5月14日公表予定であった2021年3月期連結決算発表の遅れ及び、5月25日開催予定としていた決算説明会の延期につきまして、株主・投資家の皆様をはじめ、関係者の皆様に多大なるご心配をおかけしました

過年度連結会計年度の数値訂正の経緯及び理由

米国連結子会社の出資先からの出資分配益計上について、米国での投資評価方法の修正に伴う影響により、過年度において計上していた出資分配益の金額を遡及して訂正

- ➔ 6月10日過年度の有価証券報告書及び四半期報告書の訂正報告書を提出併せて、過年度の決算短信及び四半期決算短信についても訂正
(当決算説明資料は、過年度遡及修正後の数値を用いて作成)

新型コロナウイルス感染症の拡大影響により、減収減益

売上高

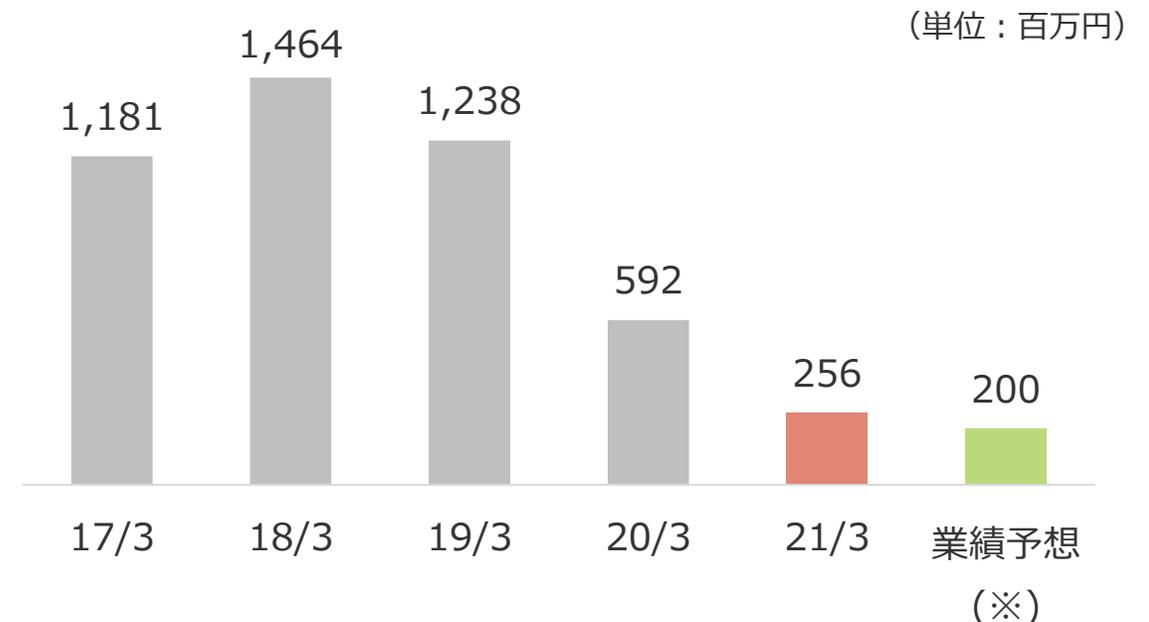
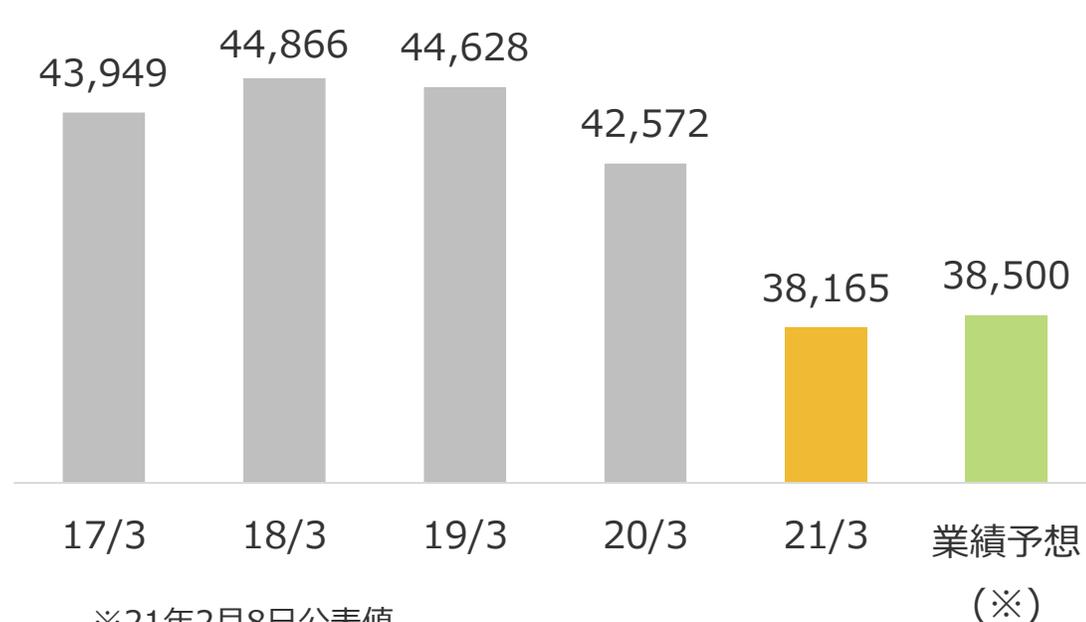
38,165百万円 前年比▲10.4%

インキ事業及び化成品事業は個人消費低迷等の影響により減収、加工品事業は水処理用資材及び土木資材の下支えで増収となるも、全体として減収

営業利益

256百万円 前年比▲56.7%

前年比大幅減益となったものの、第3四半期以降、インキ事業及び化成品事業の需要一部回復、加工品事業の好調継続により前回業績予想よりも上回る



経常利益

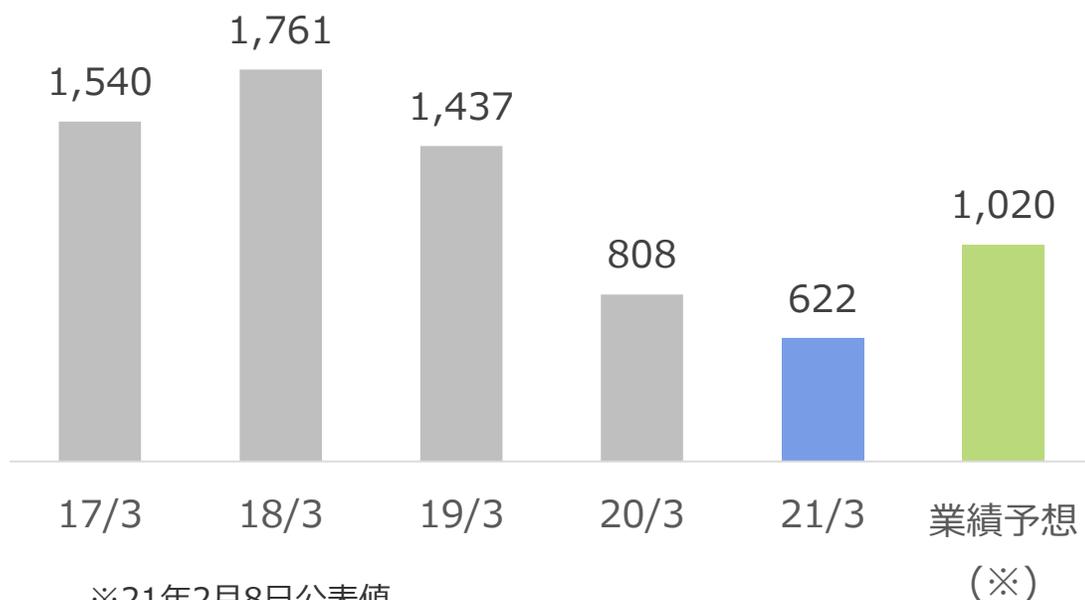
622百万円 前年比▲**23.1%**

営業外収益として米国子会社の出資先からの出資分配益の計上（207百万円）の影響が大きいが、投資評価方法の修正に伴う影響により、前回業績予想より下回った

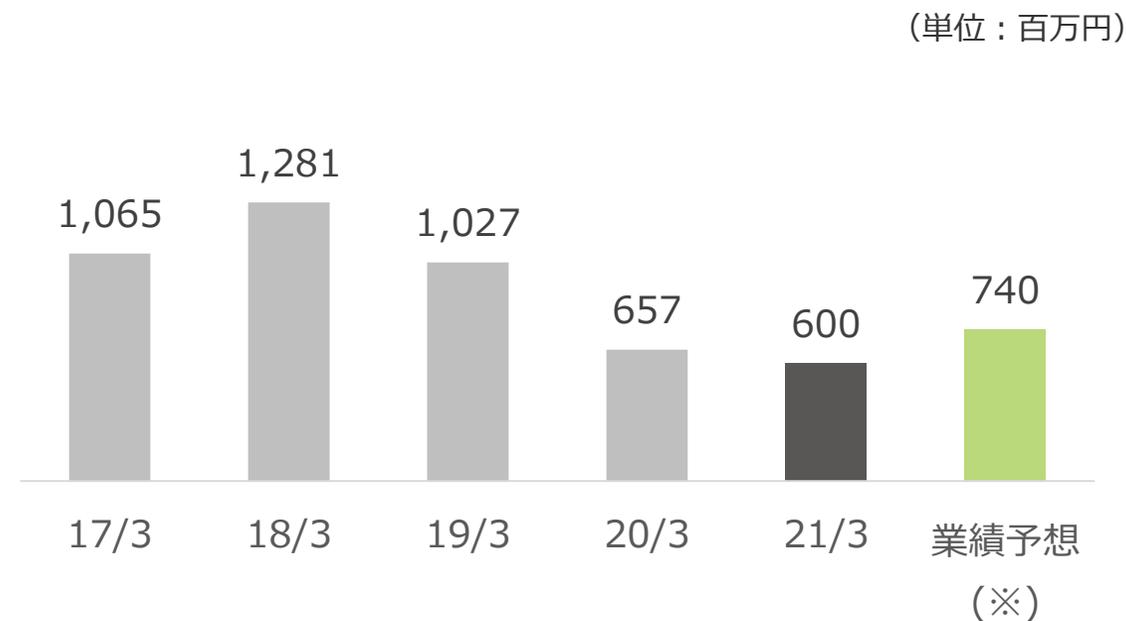
親会社株主に帰属する 当期純利益

600百万円 前年比▲**8.6%**

特別利益として21年1月に全株式を取得し、連結子会社化した荒川塗料工業(株)に係る株式取得価額と企業価値との差額を「負ののれん発生益」として計上した影響



※21年2月8日公表値



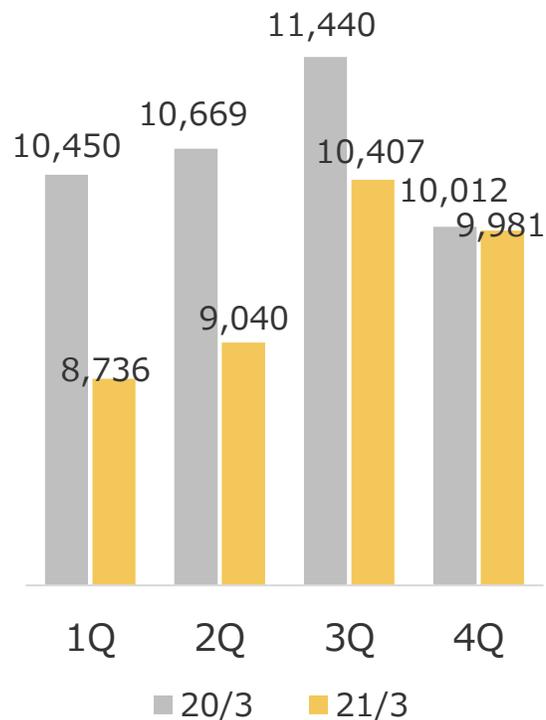
(単位：百万円)

21年3月期 四半期業績（前年対比）

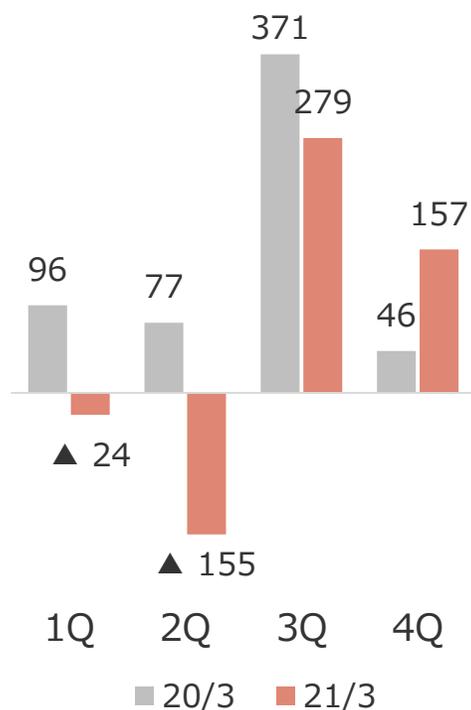
（単位：百万円）

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響により、第1、第2四半期は売上高低迷により営業損失となるも、第3四半期以降、インキ事業、化成品事業が徐々に復調し、営業利益確保

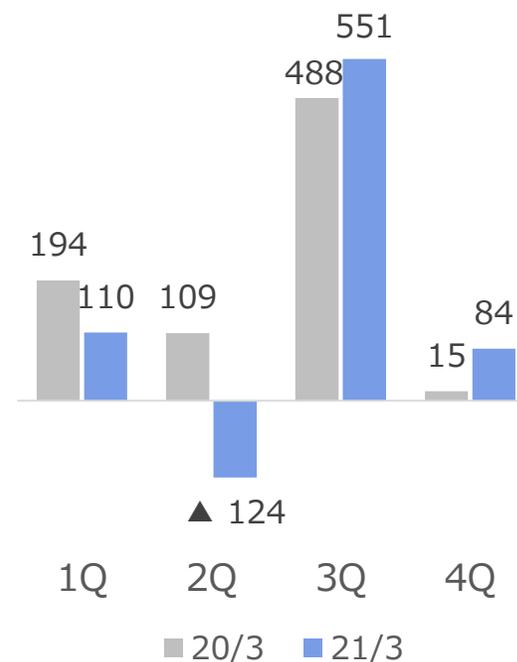
売上高



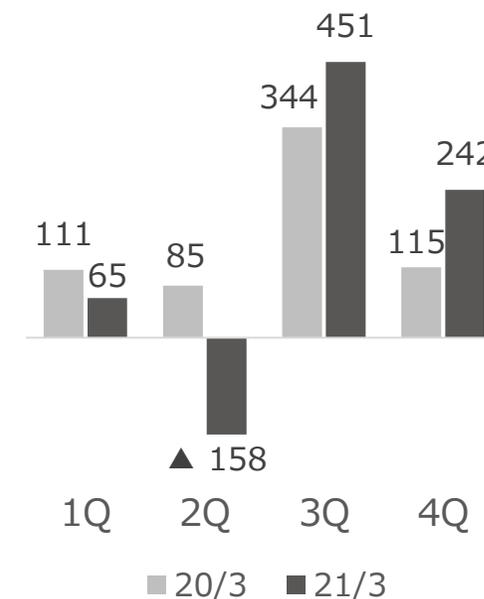
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する 当期純利益



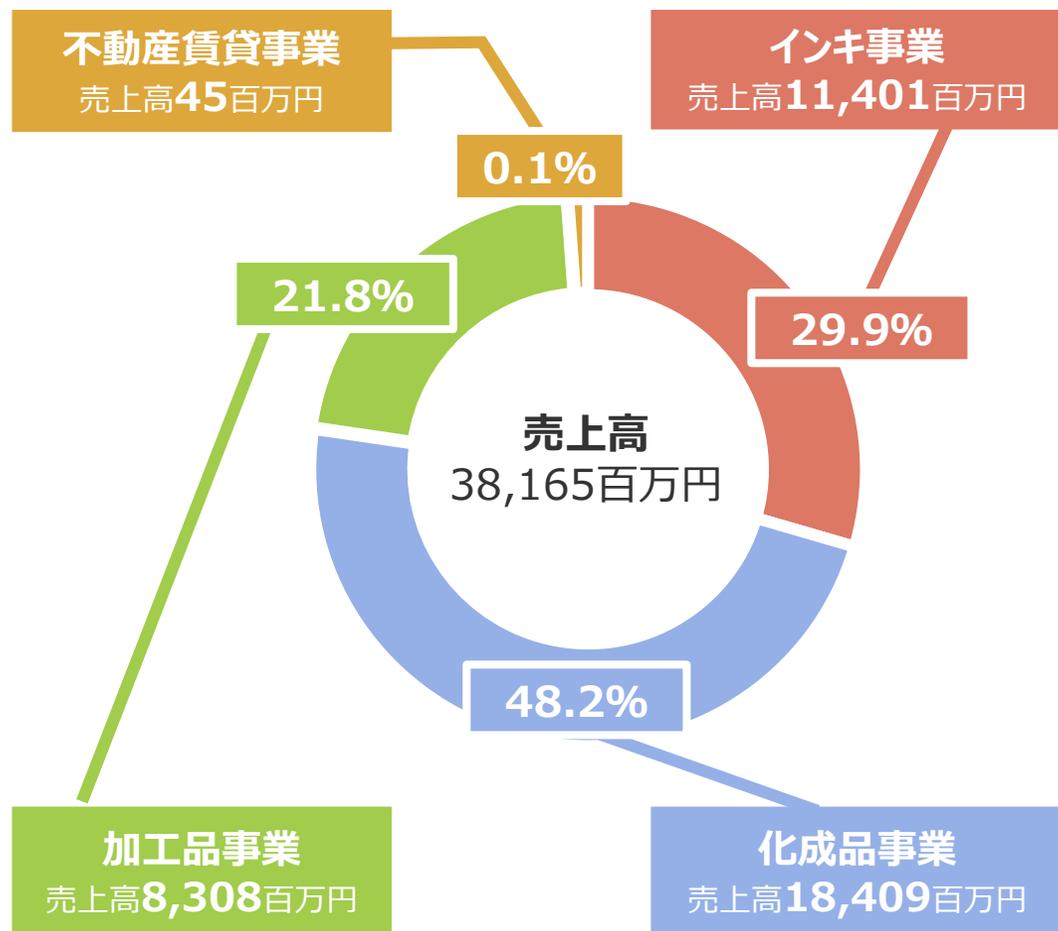
1. 東京インキについて
2. 連結業績ハイライト

■ 3. セグメントの概況

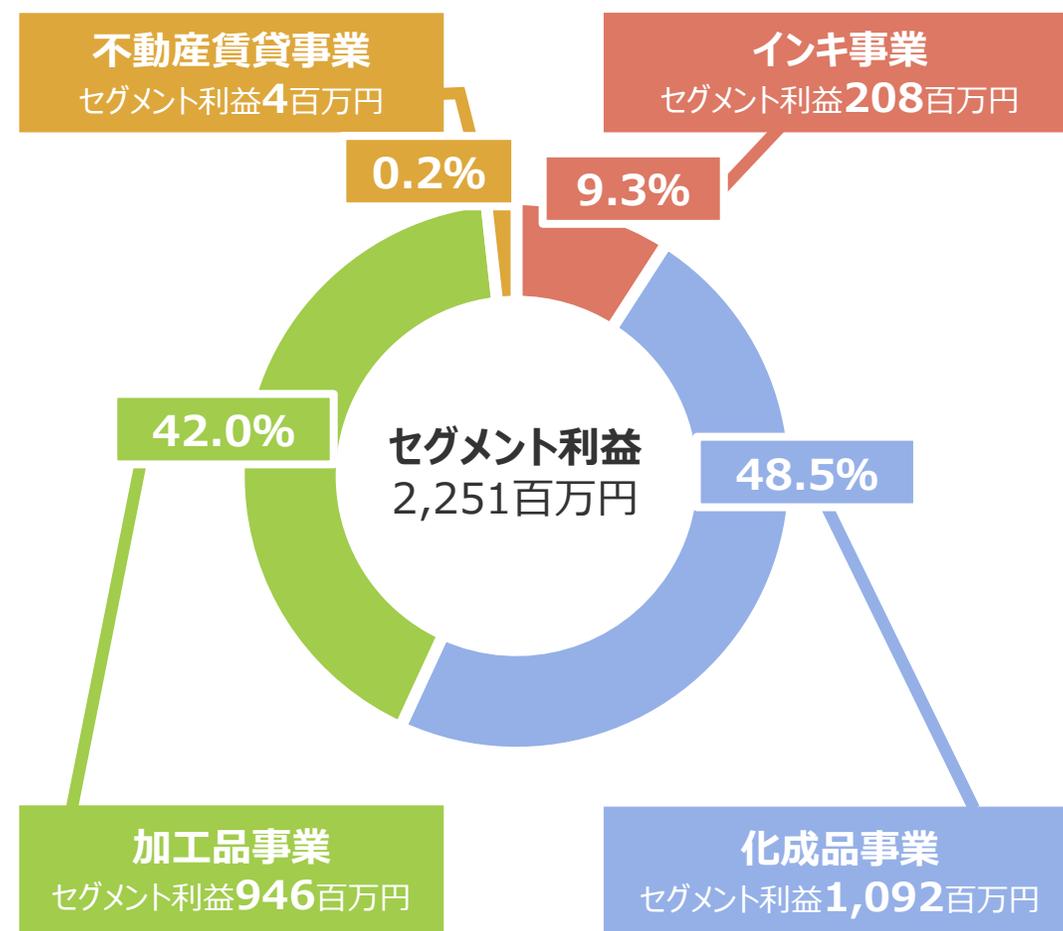
4. 株主還元情報
5. 次期業績予想
6. 中期経営計画について

- > 21年3月期 セグメント別業績サマリー
 - > 21年3月期 インキ事業
 - > 21年3月期 化成品事業
 - > 21年3月期 加工品事業
 - > 21年3月期 不動産賃貸事業
- > コロナ影響・今後の見通し
 - > インキ事業
 - > 化成品事業
 - > 加工品事業

売上高

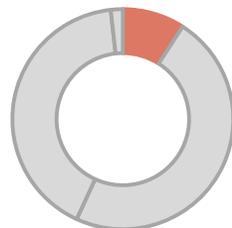
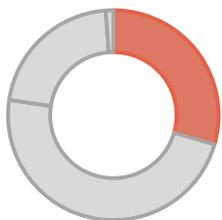


セグメント利益



売上高構成比
29.9%

セグメント利益構成比
9.3%



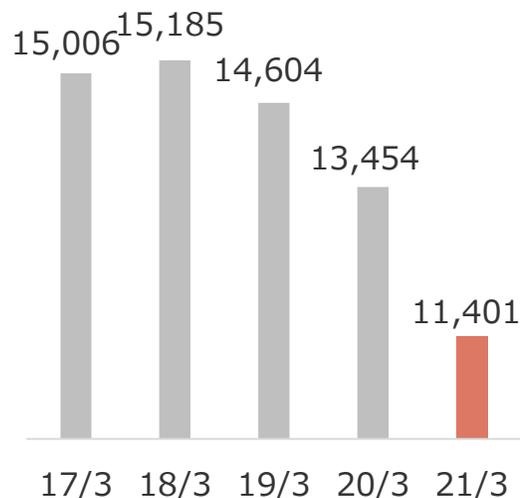
売上高 **11,401**百万円
前年対比▲15.3%

セグメント利益 **208**百万円
前年対比▲30.2%

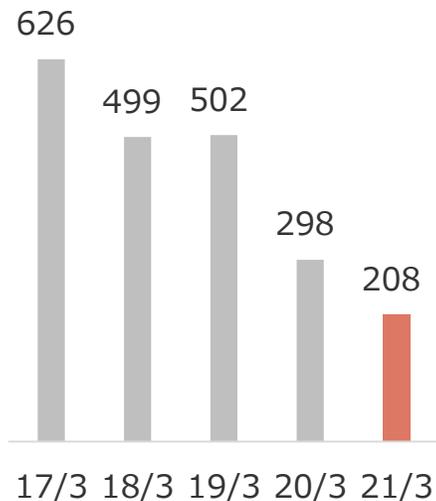
- 一部食品用途での需要増があったものの、各製品とも新型コロナウイルス感染症の拡大による需要減の影響により減収・減益

(単位：百万円)

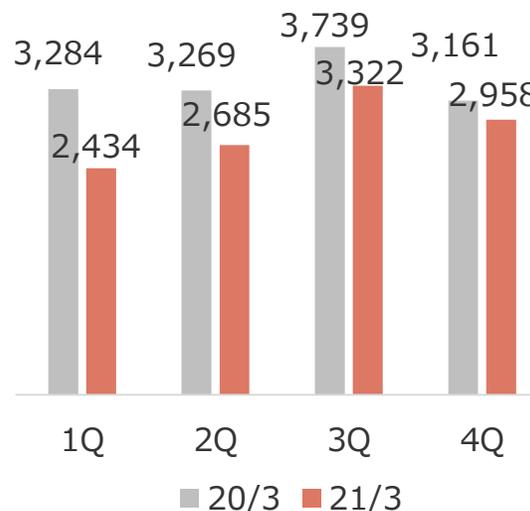
売上高



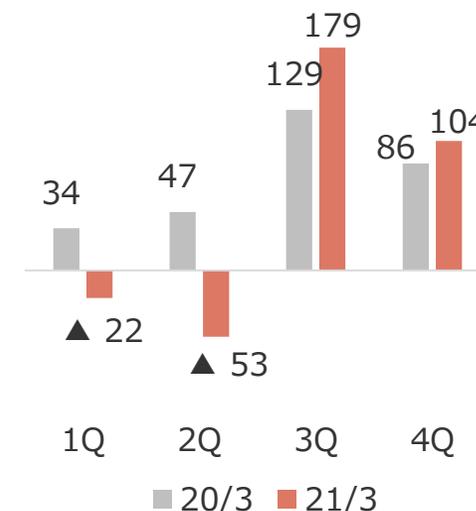
セグメント利益



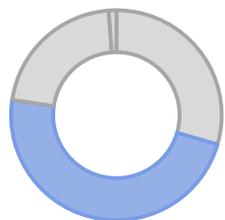
四半期(前年対比)
売上高



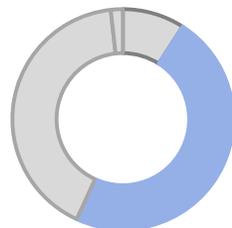
四半期(前年対比)
セグメント利益



売上高構成比
48.2%



セグメント利益構成比
48.5%



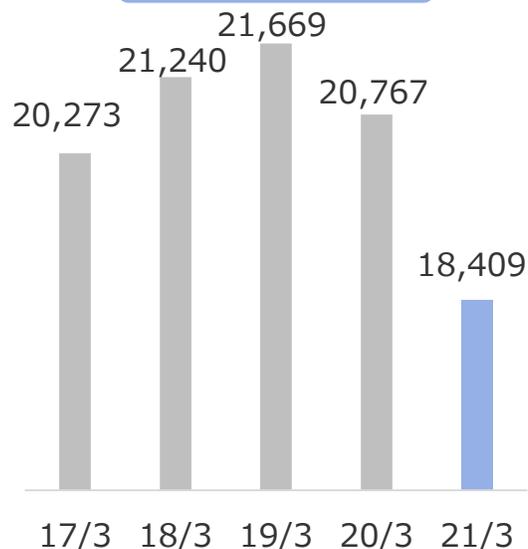
売上高 **18,409**百万円
前年対比▲11.4%

セグメント利益 **1,092**百万円
前年対比▲28.8%

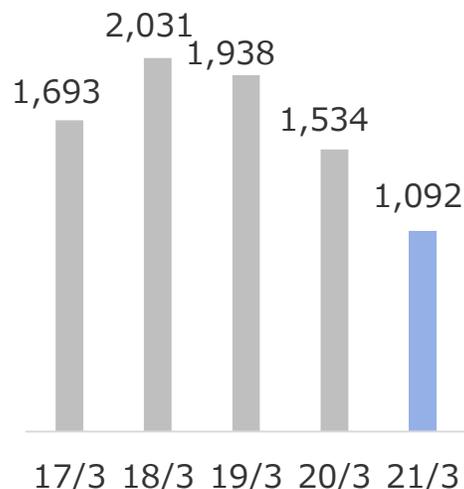
●食品包材、衛生材関連で好調な製品はあったものの、全体として脱プラ影響や新型コロナウイルス感染症の拡大による需要減の影響により減収・減益

(単位：百万円)

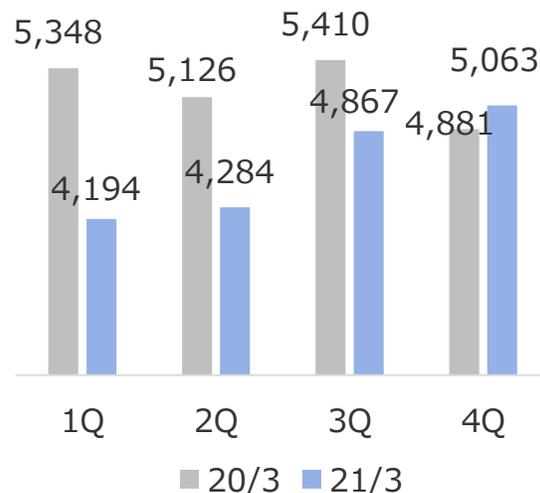
売上高



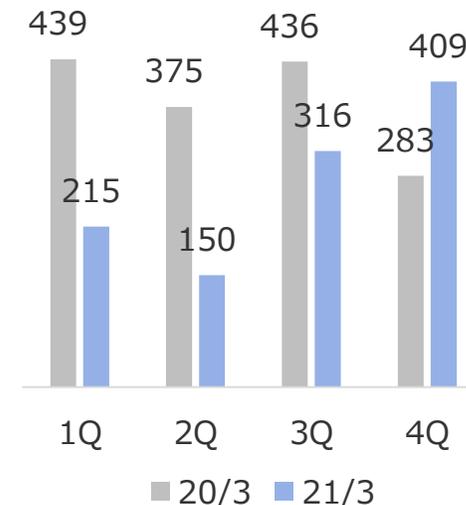
セグメント利益



四半期(前年対比)
売上高

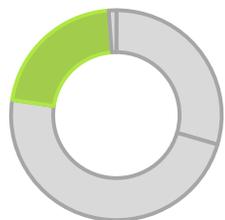


四半期(前年対比)
セグメント利益



売上高構成比
21.8%

セグメント利益構成比
42.0%



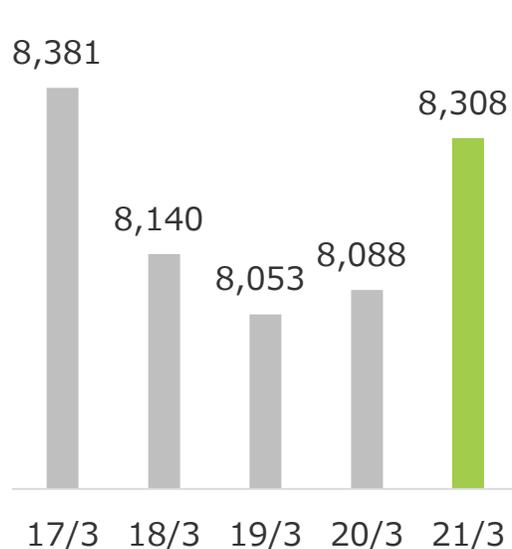
売上高 **8,308**百万円
前年対比 + 2.7%

セグメント利益 **946**百万円
前年対比 + 55.8%

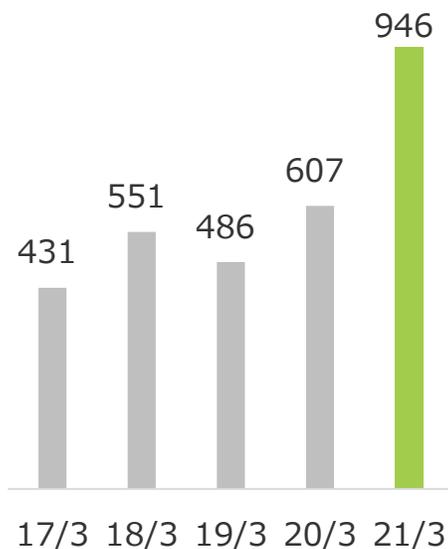
- 一軸延伸フィルム、農業資材が新型コロナウイルス感染症の影響を受けるも、ネトロンの水処理用途、土木資材のジオセル製品が好調に推移し増収・増益

(単位：百万円)

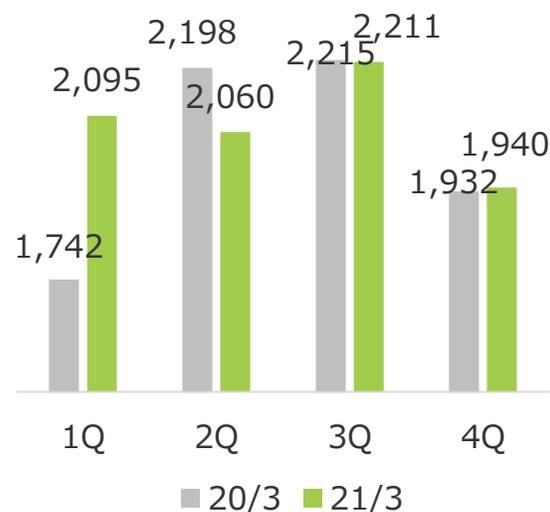
売上高



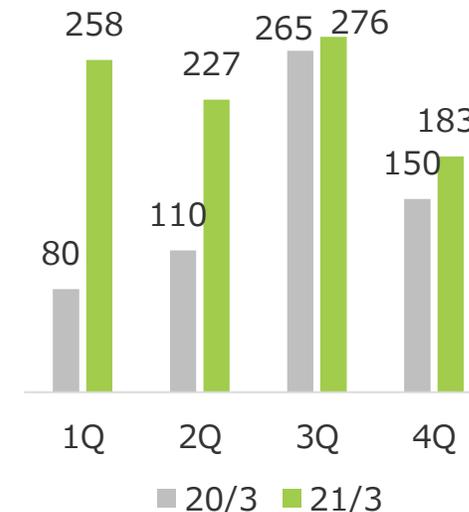
セグメント利益



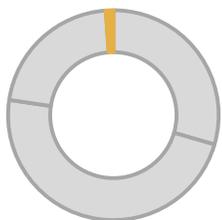
四半期(前年対比)
売上高



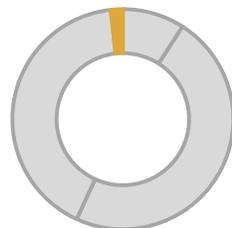
四半期(前年対比)
セグメント利益



売上高構成比
0.1%



セグメント利益構成比
0.2%



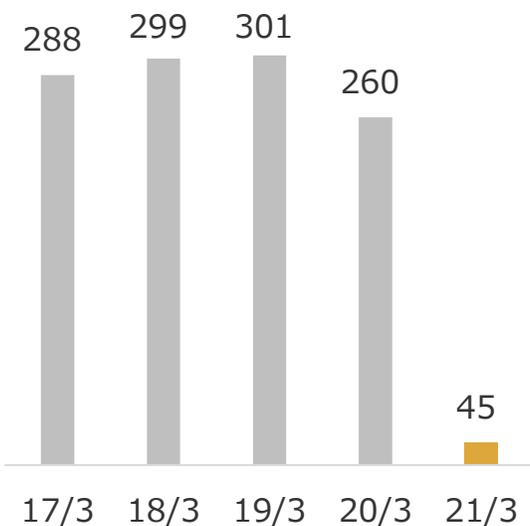
売上高 **45**百万円
前年対比▲82.4%

セグメント利益 **4**百万円
前年対比▲96.5%

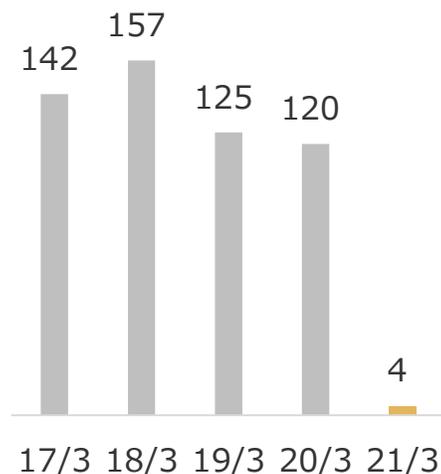
- 前年度の賃貸物件売却の影響により減収・減益
- 埼玉県さいたま市に戸建賃貸住宅「パレットパークタウン」完成
- 今後の見通し：「パレットパークタウン」、北区王子本社ビルの賃貸フロアともすべて稼働
⇒ 一定の賃貸収入を見込む

(単位：百万円)

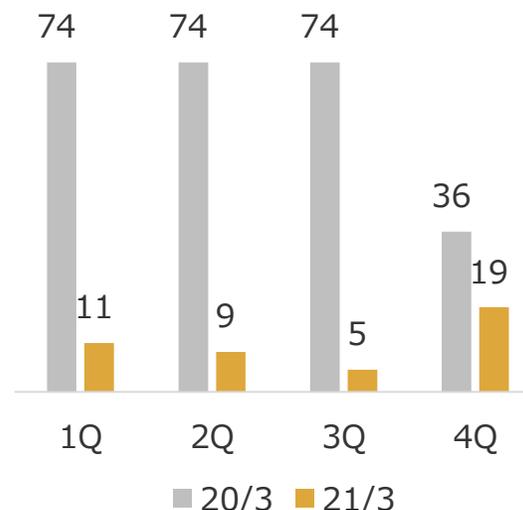
売上高



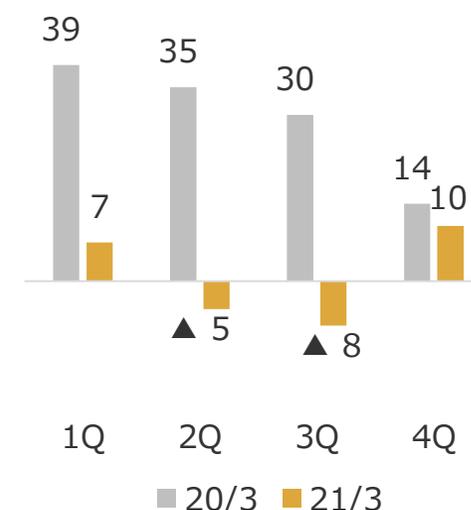
セグメント利益



四半期(前年対比)
売上高



四半期(前年対比)
セグメント利益



コロナウイルス影響

第3四半期以降は回復基調にあり、今後は21年3月期ほどの影響はないと考えているが、感染拡大・高止まりが継続した場合の収益悪化が懸念

事業環境と重点施策

- オフセットインキ
市場縮小は継続 ⇒ 重点顧客への販売強化や他社との協業を推進し、事業体制の見直し
- グラビアインキ
軟包装市場は堅調に推移 ⇒ 環境対応製品、機能性製品の拡充
- インクジェットインク
産業用・包装用市場拡大は継続 ⇒ 独自特許取得とアライアンスによる産業用・商業用インク拡充

設備投資等

事業環境を考慮し、大型の新規投資は計画なし（維持・老朽更新は適宜実施）

コロナウイルス影響

第3四半期以降は回復基調にあり、今後は21年3月期ほどの影響はないと考えているが、感染拡大・高止まりが継続した場合の収益悪化が懸念

事業環境と重点施策

- 自動車用マスターバッチ・コンパウンド
国内生産台数の見通しは不透明 ⇒ 既存製品の維持、新車種向け着色剤の受注、機能性製品の開発
- フィルム・容器用マスターバッチ
脱プラスチック影響により市場縮小は継続 ⇒ バイオマス・生分解性樹脂用マスターバッチ開発
環境対応製品や機能性付与添加剤マスターバッチ開発
液体マスターバッチ製品拡充
非ポリオレフィン樹脂用マスターバッチ製品拡充

設備投資等

省力化・自動化設備等を実施予定

コロナウイルス影響

ネトロン（工材）の水処理用途、土木資材のジオセル製品は大きな影響はなく引き続き堅調に推移も、一軸延伸フィルムや農業資材は感染拡大・高止まりが継続した場合の収益悪化が懸念

事業環境と重点施策

- ネトロン
 - 水処理市場拡大継続 ⇒ 生産能力増強、高機能水処理用資材開発
 - 包装用資材 ⇒ 環境対応製品の開発
- 一軸延伸フィルム
 - コイン包装需要減 ⇒ ひねり性、直進カット性を活かした環境対応製品、高機能製品開発
- 土木資材
 - 自然災害増加に伴う防災・減災需要増加継続
 - 国土強靱化計画継続 ⇒ 高機能ジオセル製品開発・ジオセル新規工法開発
- 農業資材
 - 国内人口減、高齢化に伴う需要減少 ⇒ 多層断熱被覆資材市場開拓、高機能農業資材開発

設備投資等

大型投資継続実施

1. 東京インキについて
2. 連結業績ハイライト
3. セグメントの概況

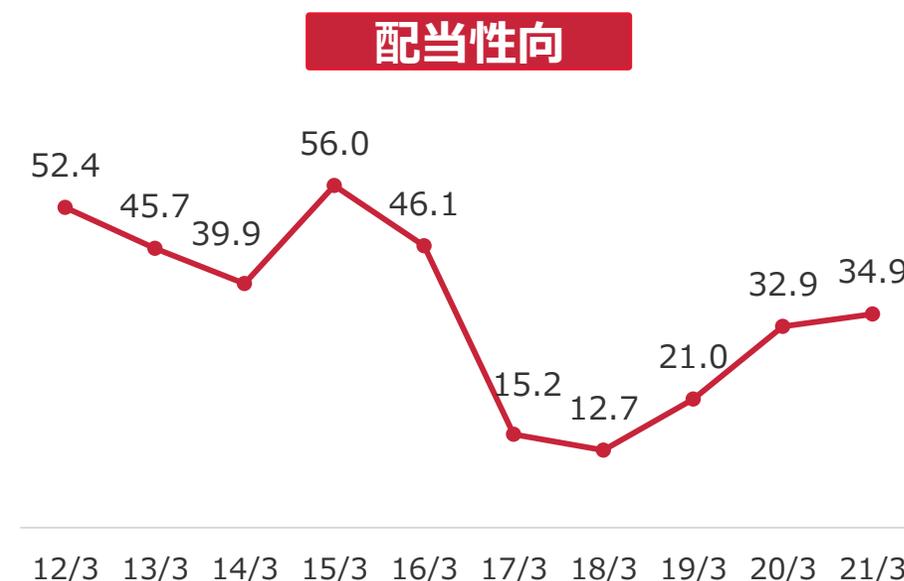
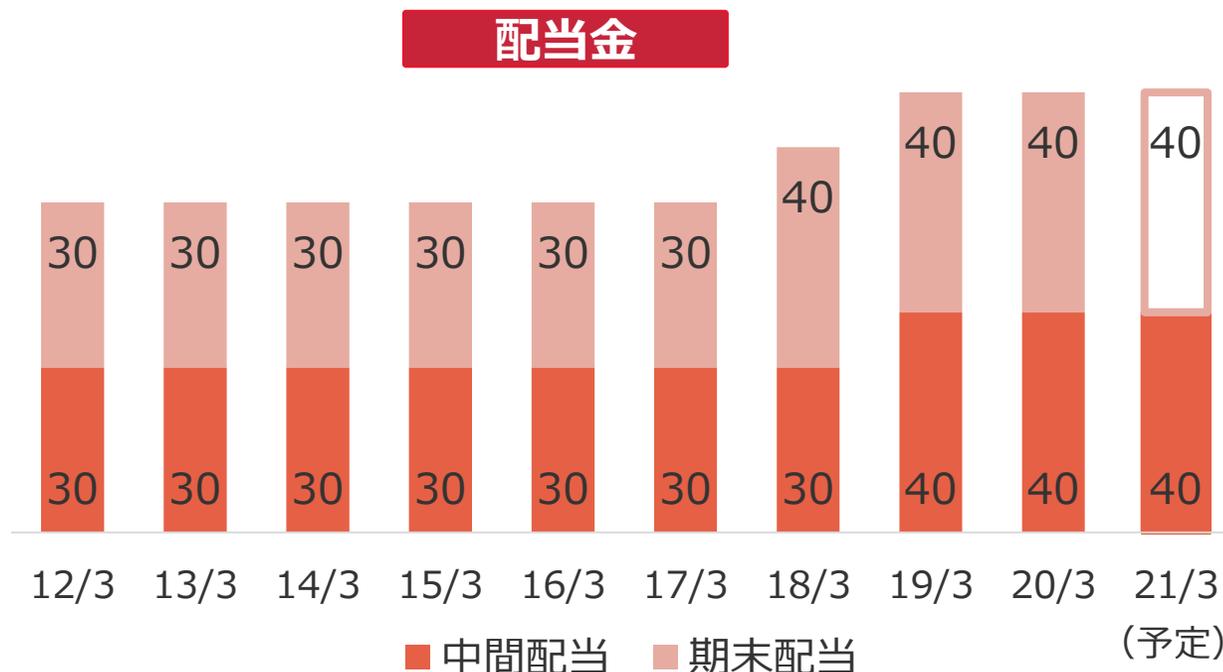
4. 株主還元情報

5. 次期業績予想
6. 中期経営計画について

経営基盤の強化ならびに今後の企業価値向上へ向けた内部留保を確保しつつ、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つとし、安定かつ継続的に配当することを基本方針としております

21年3月期の年間配当金は**1株当たり80円**を予定しております

(単位：円、%)



※2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施
2017年3月期以前の配当金は遡及して修正

【株主優待】毎年9月30日現在当社株式1单元(100株)以上を保有の株主様へオリジナルクオカードを贈呈致します

1. 東京インキについて

2. 連結業績ハイライト

3. セグメントの概況

4. 株主還元情報

 **5. 次期業績予想**

6. 中期経営計画について

次期業績予想

売上高 : 全事業セグメントで増収を計画 (新型コロナウイルス感染症の影響からの回復を含む)

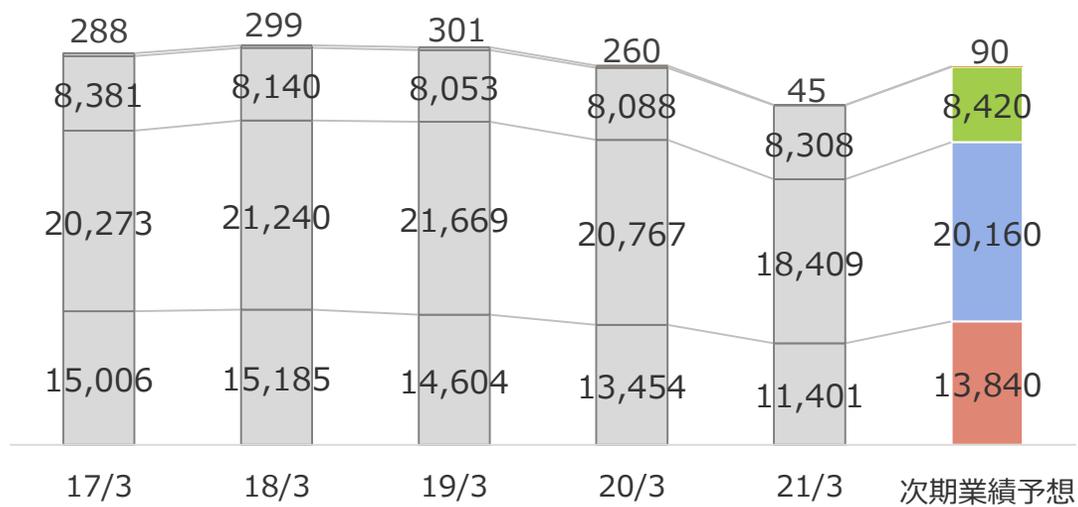
(単位: 百万円)

セグメント利益 : インキ・化成品・不動産賃貸事業で増益を計画

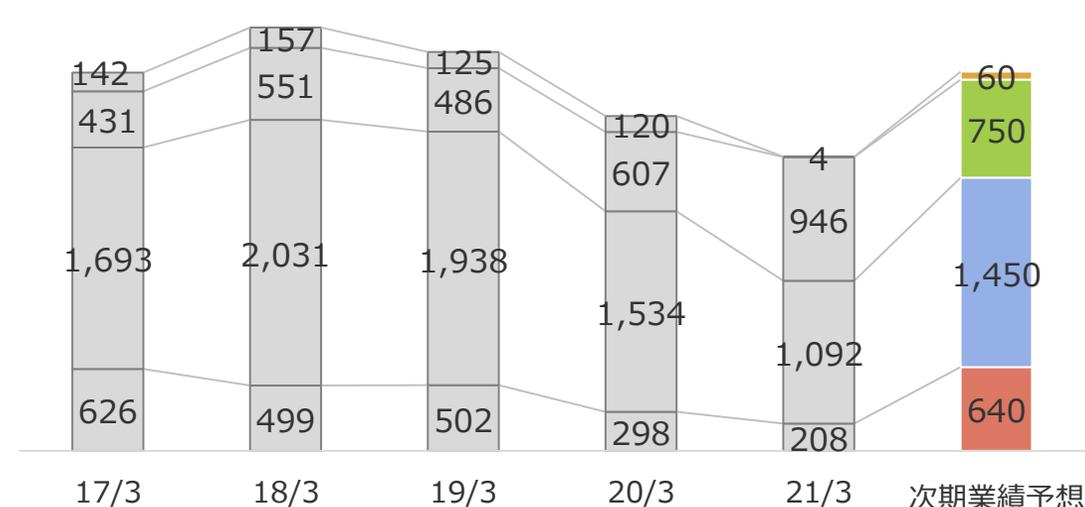
加工品事業については今期好調の土木資材での若干の売上高減と新規設備投資による償却費増により減益

次期業績予想	インキ事業	化成品事業	加工品事業	不動産賃貸事業	セグメント合計	全社費用他	連結合計
売上高	13,840	20,160	8,420	90	42,510	—	42,510
セグメント利益	640	1,450	750	60	2,900	▲2,100	800

売上高



セグメント利益



■ インキ事業 ■ 化成品事業 ■ 加工品事業 ■ 不動産賃貸事業

■ インキ事業 ■ 化成品事業 ■ 加工品事業 ■ 不動産賃貸事業

1. 東京インキについて
2. 連結業績ハイライト
3. セグメントの概況
4. 株主還元情報
5. 次期業績予想

6. 中期経営計画について

- > 中期経営計画「TOKYOink 2020」
- > 中期経営計画—取り組み状況と業績推移—
- > 今後の課題と次期中期経営計画

現中期経営計画

TOKYOink 2020 2020年度連結経常利益目標 **15億円**

既存の事業領域において徹底的な競争力強化と顧客満足を実現することで、より強固な経営基盤を構築すると共に、周辺事業領域、更にはその先の領域へ段階的に事業を拡大することにより持続的な成長と高収益化を目指しています

「TOKYOink 2020」の戦略と基盤の整備

経営戦略

事業戦略	<ul style="list-style-type: none">・コア事業の更なる強化/ 拡大 …基盤強化戦略・コア事業周辺領域の事業拡大 …成長戦略
技術戦略	<ul style="list-style-type: none">・素材を活かす要素技術・加工技術の拡充
財務戦略	<ul style="list-style-type: none">・株主価値の向上・事業戦略に応じた最適資本構成
人事戦略	<ul style="list-style-type: none">・人的資源の有効活用

基盤の整備・現場力の強化徹底

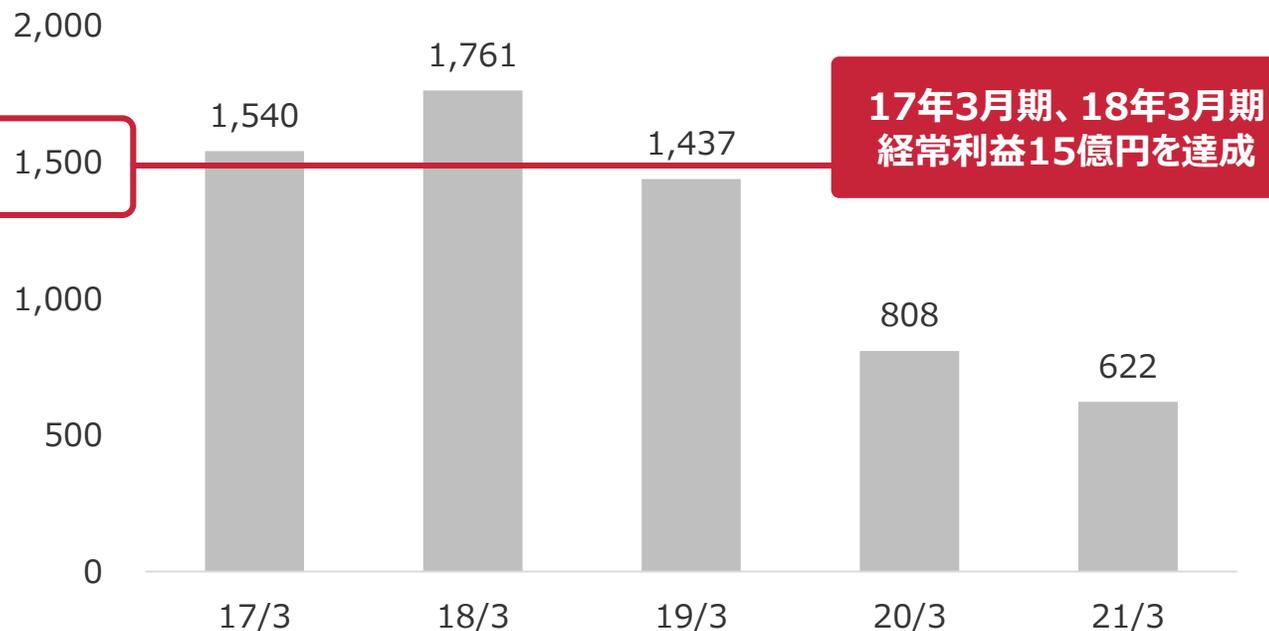


		取り組み
<p>事業戦略</p> <p>コア事業(インキ・化成品・加工品)の更なる強化 【基盤強化】 * 強みのある市場・用途の深耕</p> <p>コア事業周辺領域の拡大 【成長戦略】 * 周辺領域の位置づけ</p> <p>既に展開している市場以外への 販売強化や低シェア市場等への拡大等</p>	インキ	<ul style="list-style-type: none"> ・グラビアインキでの機能性コート剤製品ラインナップの拡充 ・産業用インクジェットインク拡販 (サイン・ディスプレイ) ・UVインキの開発・販売強化
	化成品	<ul style="list-style-type: none"> ・シート・ブロー用マスターバッチの販売強化 ・PET等の非ポリオレフィンマスターバッチの販売強化 ・生分解マスターバッチのラインナップ拡充 ・各種添加剤マスターバッチのラインナップ拡充
	加工品	<ul style="list-style-type: none"> ・水処理用資材の販売強化 (ネトロン) ・防災・減災需要に対応したジオセル製品販売の強化と新工法開発 (土木)
<p>技術戦略</p> <p>素材を生かす要素技術・加工技術の拡充</p>		<ul style="list-style-type: none"> ● 機械設備メーカーとの新規設備共同開発 ● 省力化・自動化設備検討 ● 産官学連携による共同研究の推進
<p>財務戦略</p> <p>株主価値の向上と事業戦略に応じた最適資本構成</p>		<ul style="list-style-type: none"> ● 新会計基準への対応 ● グループでのキャッシュマネジメントシステムの強化
<p>人事戦略</p> <p>人的資源の有効活用</p>		<ul style="list-style-type: none"> ● 働き方改革への対応 ● 定年再雇用制度改定 ● Eラーニング等の教育制度更新

	取り組み
基盤の整備 経営・リスク	<ul style="list-style-type: none"> ● 大規模災害を考慮した事業継続計画(BCP)の構築 ● リスクマネジメント体制評価の実施 ● コンプライアンス強化のための法務機能整備 ● サステナビリティ委員会設置
事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 荒川塗料工業(株)買収
安全	<ul style="list-style-type: none"> ● 耐震補強工事実施
生産体制	<ul style="list-style-type: none"> ● 大阪工場内に新工場を竣工
IT	<ul style="list-style-type: none"> ● 新業務システム導入 ● 情報セキュリティ強化 ● RPA・電子ワークフロー導入 ● インフラ整備

17年3月期、18年3月期において経常利益15億円を達成しましたが、当社製品を取り巻く市場環境変化、直近では新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、厳しい事業環境となっています

経常利益



17年3月期、18年3月期
経常利益15億円を達成

20年3月期

- ・新業務システム導入に伴う一時経費増
- ・新型コロナウイルス感染症拡大による売上高減（第4四半期）
- ・印刷市場縮小の継続・脱プラスチックの流れが加速

21年3月期

- ・新型コロナウイルス感染症拡大による売上高の減少

新型コロナウイルス感染症の経営環境への影響が見通せない状況が継続していること、ウィズコロナ、アフターコロナ下での外部環境変化も未だ不透明な状況下にあることから、**現中期経営計画を22年3月期まで1年延長**

次期中期経営計画

21年3月期は、「TOKYOink 2020」の最終年度でありましたが、新型コロナウイルス感染症の経営環境への影響が見通せない状況が継続していること、ウィズコロナ、アフターコロナ下での外部環境変化も未だ不透明な状況下にあることから、現中期経営計画を1年延長することといたしました。当社グループでは次期中期経営計画策定に当たり、下記を重要な課題と捉えております。

重要課題

- 気候変動、サステナビリティに配慮した企業活動の推進
- 新型コロナウイルス感染症拡大により変化したニーズの見極めと取り込み
- デジタル技術の急速な進化により変化したニーズの見極めと取り込み
- コア事業周辺領域を拡大させることによる事業ポートフォリオの再構築
- 基盤整備の推進と経営基盤の強化

持続的に成長できる企業を目指し、21年度中に上記に掲げました重要課題への対応を織り込んだ次期中期経営計画を策定し、22年度から始動させる予定でおります。

【お問合せ先】

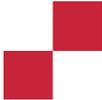
東京インキ株式会社 管理部門 理財部

TEL : 03-5902-7652

FAX : 03-5390-4937

E-mail : tic-ir@tokyoink.co.jp

<https://www.tokyoink.co.jp/>

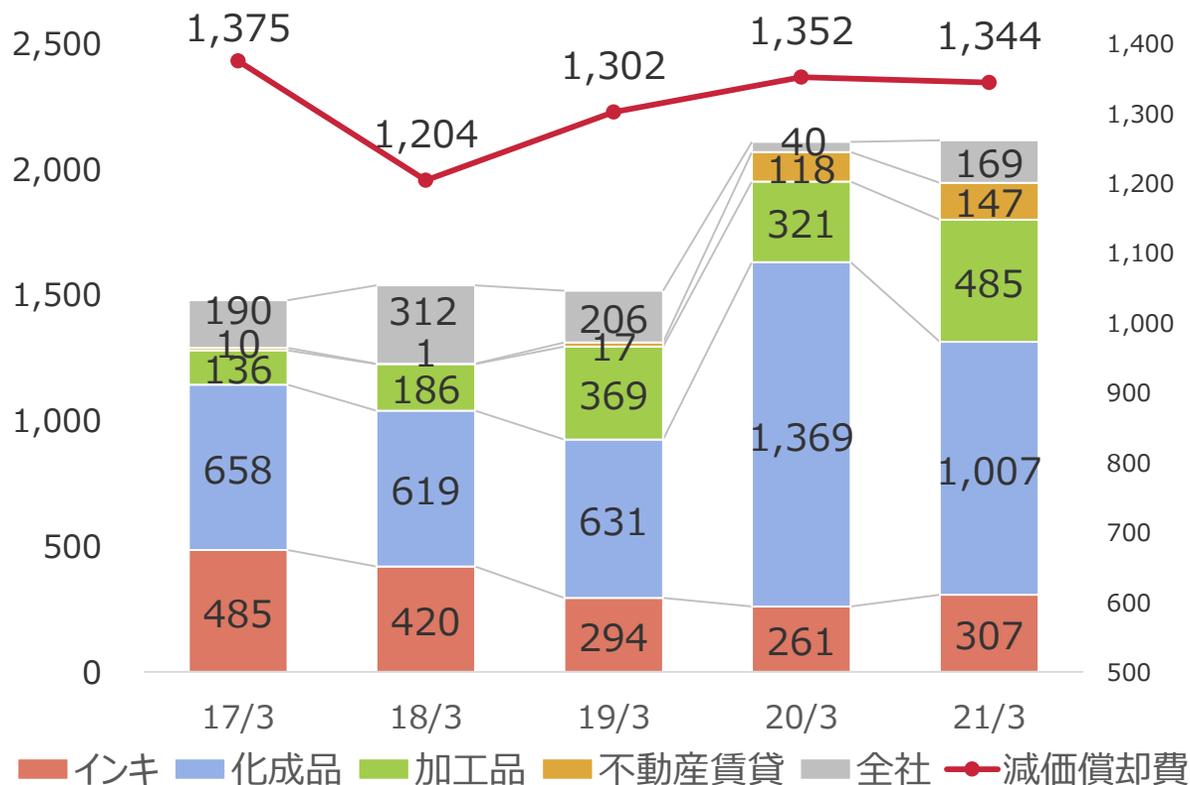


参考情報

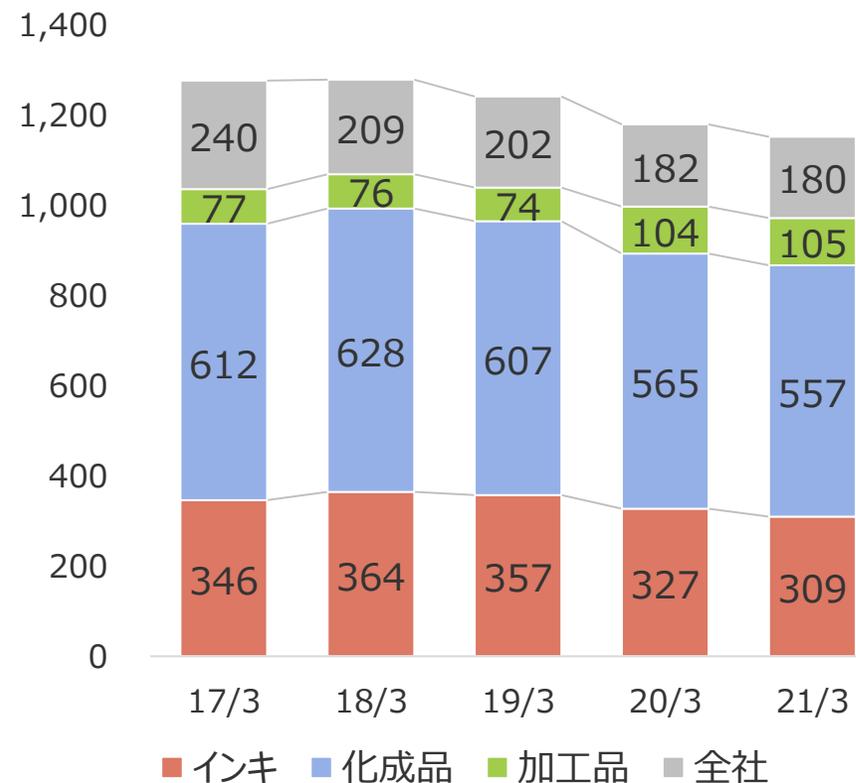
設備投資額：化成品事業における大阪新工場建設や新規高分散対応設備、加工品事業における自動化ライン等の導入等により増加傾向

(単位：百万円)

設備投資額・減価償却費

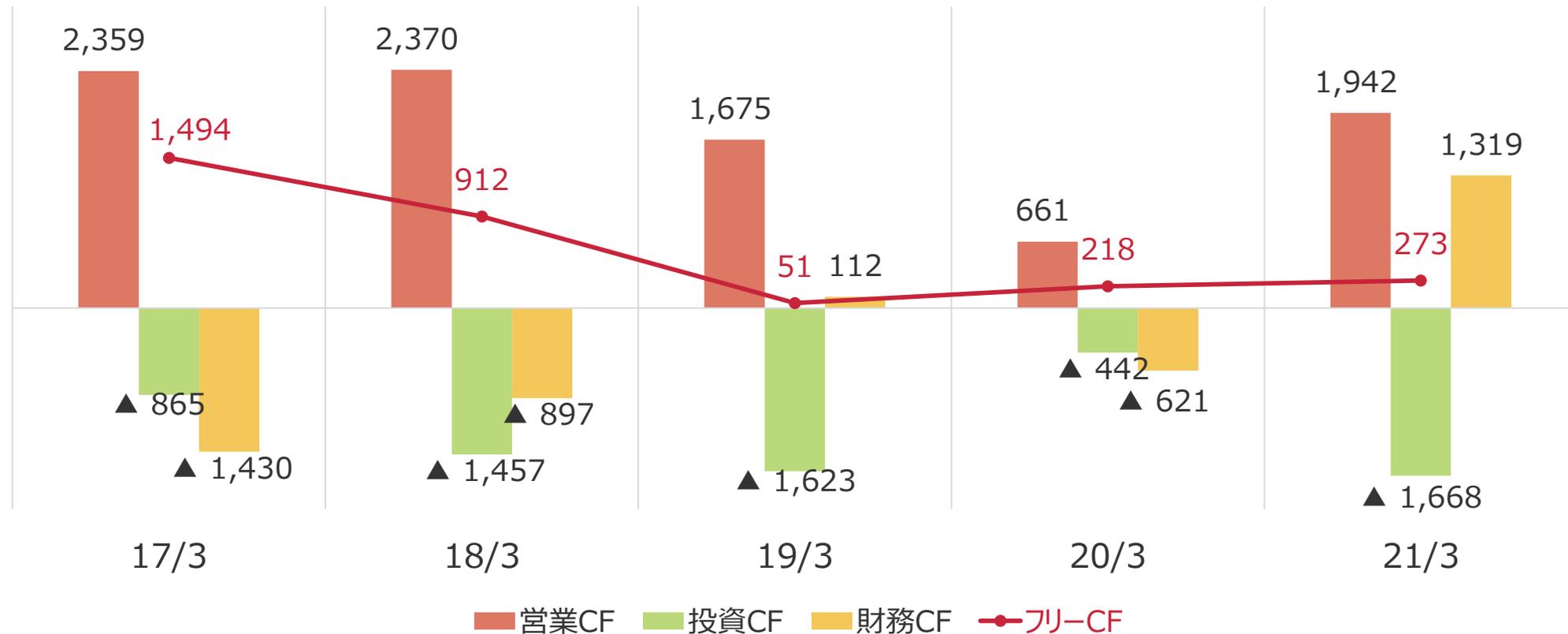


研究開発費



(単位：百万円)

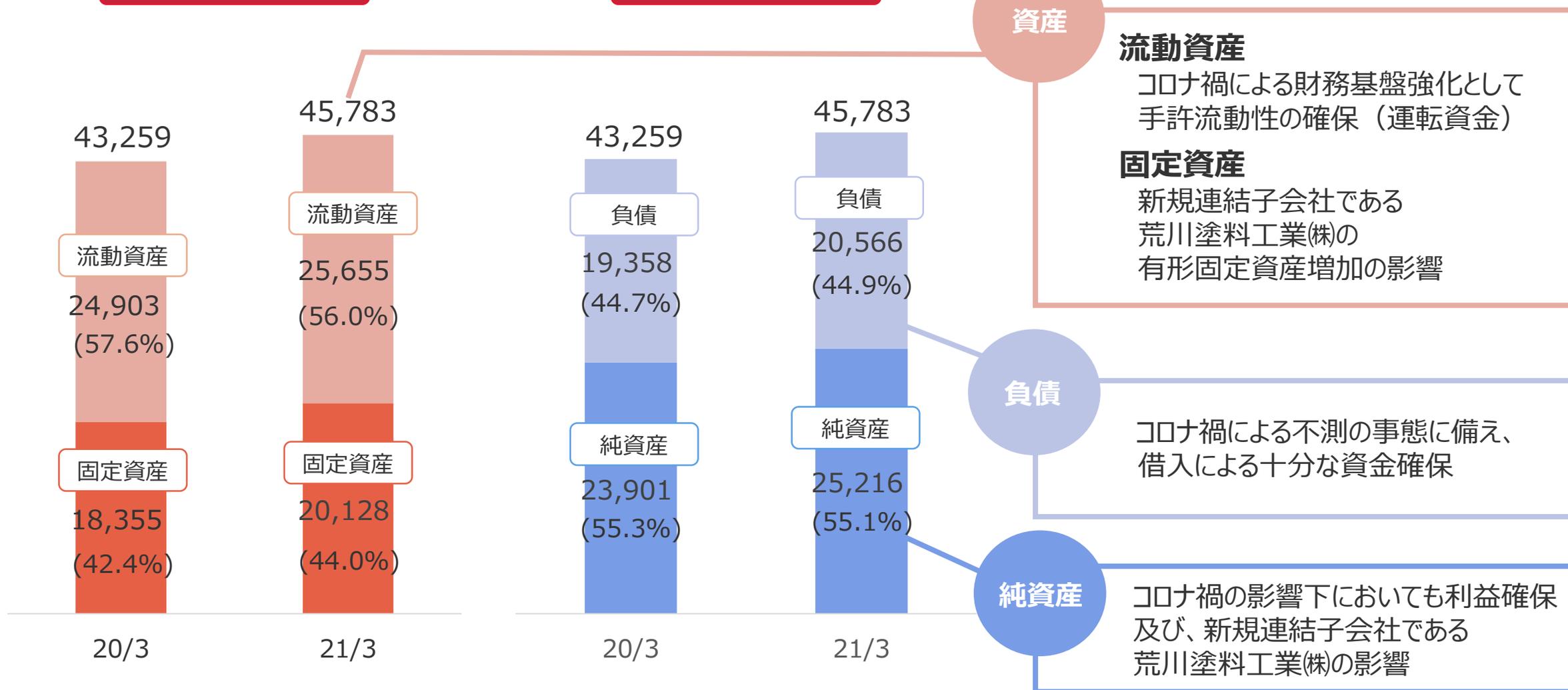
21年3月期は、コロナ禍起因での売上減少、収益力低下による必要運転資金不足に備え、手許流動性の確保、事業環境悪化への備えとM&A等成長戦略投資を実施



(単位：百万円)

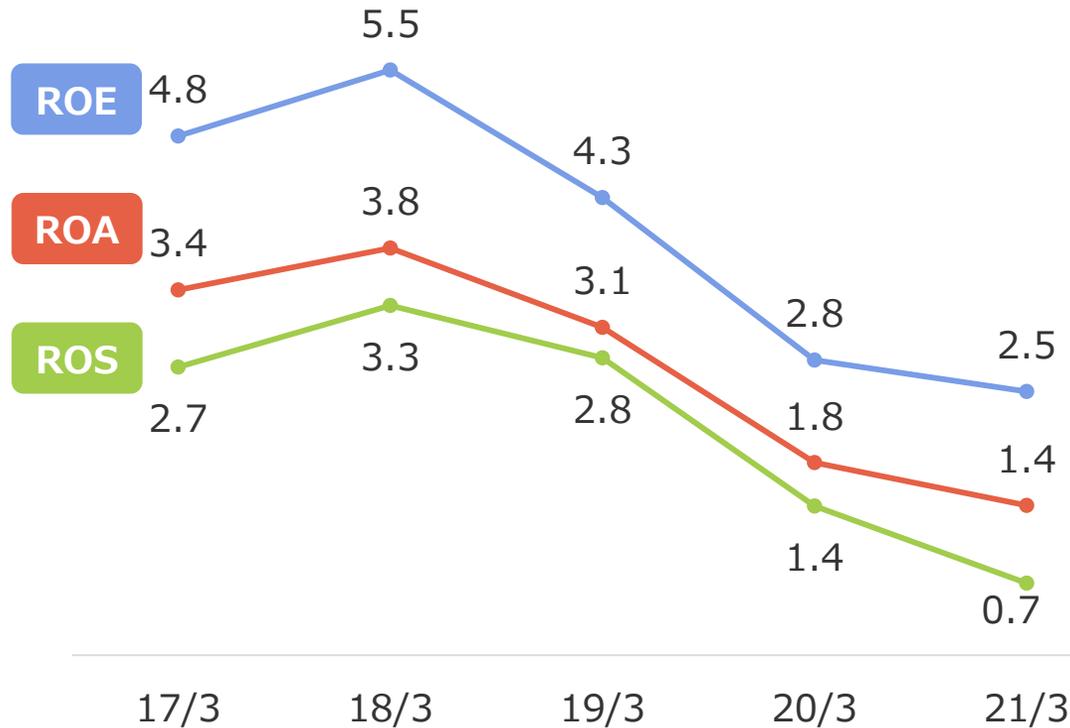
資産の部

負債・純資産の部

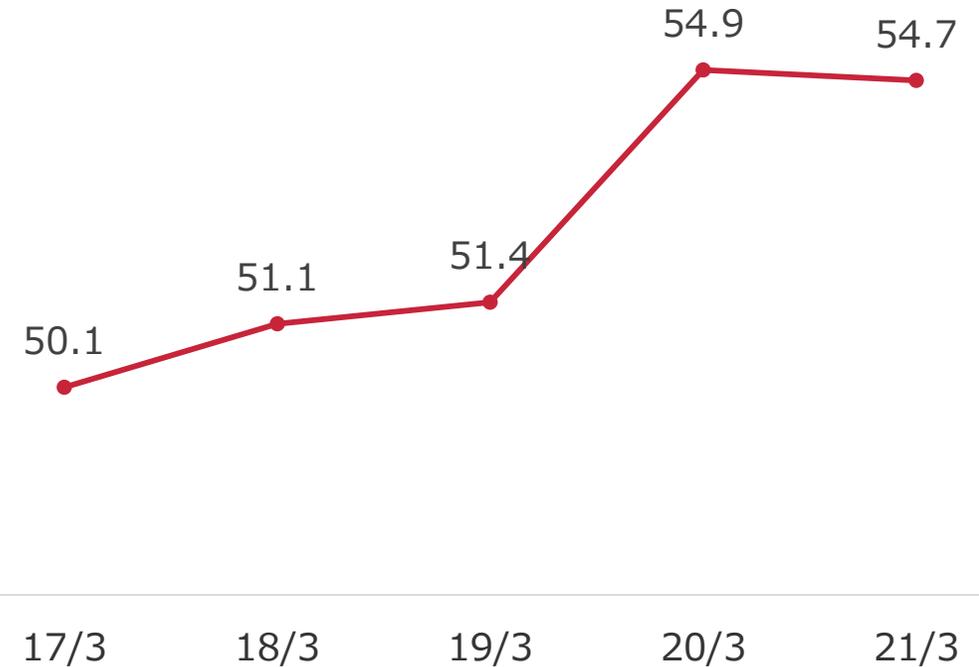


(単位：円)

ROE・ROA・ROS



自己資本比率

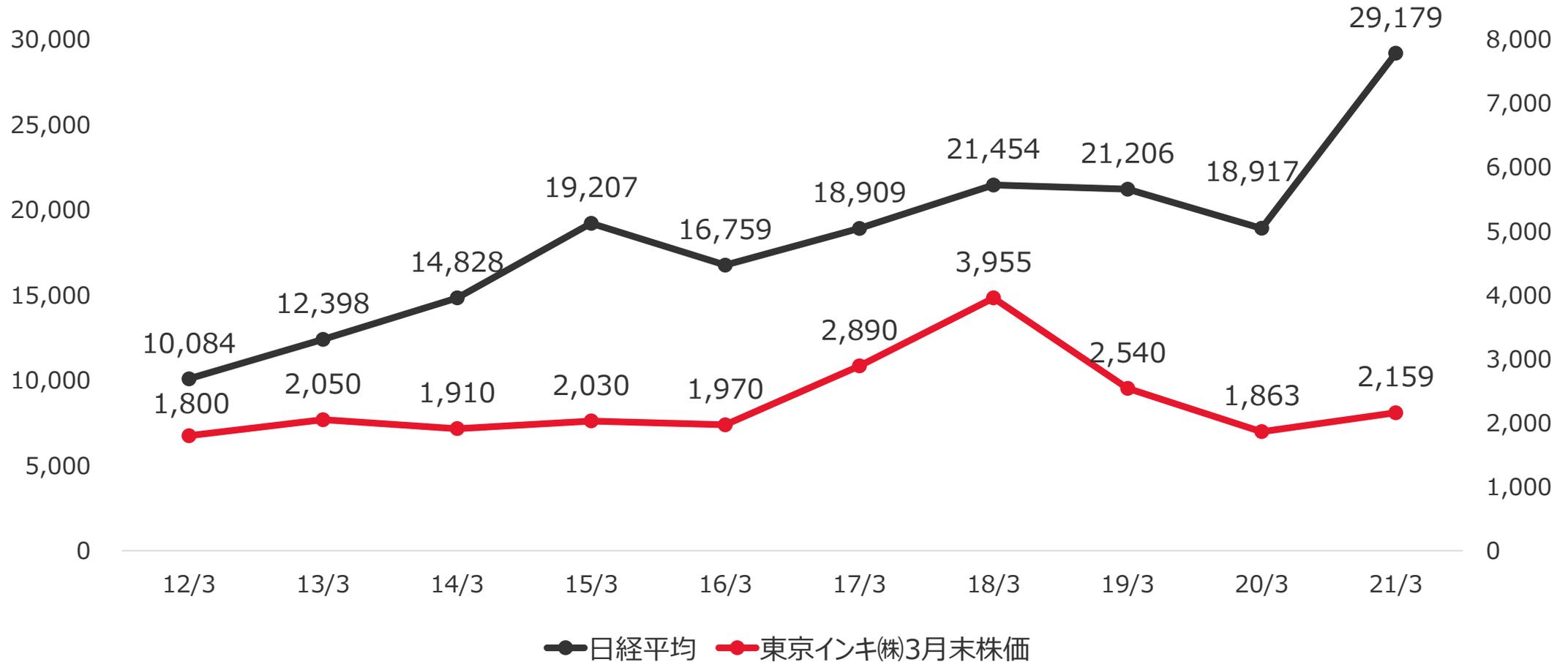


ROE (自己資本利益率) = 親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ (純資産 - 非支配株主持分)

ROA (総資本利益率) = 経常利益 ÷ 総資産

ROS (売上高利益率) = 営業利益 ÷ 売上高

(単位：円)



※2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施
2017年3月期以前の当社株価は遡及して修正

(単位：百万円)

	20年3月期	構成比 (%)	21年3月期	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)	参考 前回業績予想 21年2月8日公表値	増減
売上高	42,572	100.0	38,165	100.0	▲4,406	▲10.4	38,500	▲334
売上原価	35,802	84.1	31,969	83.8	▲3,832	▲10.7	—	—
売上総利益	6,769	15.9	6,195	16.2	▲573	▲8.5	—	—
販売費及び一般管理費	6,176	14.5	5,939	15.6	▲237	▲3.9	—	—
営業利益	592	1.4	256	0.7	▲336	▲56.7	200	56
営業外損益	215	0.5	365	1.0	149	69.4	—	—
経常利益	808	1.9	622	1.6	▲186	▲23.1	1,020	▲397
親会社株主に帰属する 当期純利益	657	1.5	600	1.6	▲56	▲8.6	740	▲139

（単位：百万円）

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		連結会計年度	
	19/4～6	20/4～6	19/7～9	20/7～9	19/10～12	20/10～12	20/1～3	21/1～3	19/4～20/3	20/4～21/3
売上高	10,450	8,736	10,669	9,040	11,440	10,407	10,012	9,981	42,572	38,165
営業利益	96	▲24	77	▲155	371	279	46	157	592	256
経常利益	194	110	109	▲124	488	551	15	84	808	622
親会社株主に帰属する 当期純利益	111	65	85	▲158	344	451	115	242	657	600

(単位：百万円)

売上高

セグメント利益

報告セグメント	20年3月期	21年3月期	増減	増減率 (%)	20年3月期	21年3月期	増減	増減率 (%)
インキ事業	13,454	11,401	▲2,053	▲15.3	298	208	▲89	▲30.2
化成品事業	20,767	18,409	▲2,357	▲11.4	1,534	1,092	▲441	▲28.8
加工品事業	8,088	8,308	220	2.7	607	946	339	55.8
不動産賃貸事業	260	45	▲214	▲82.4	120	4	▲115	▲96.5
セグメント合計	42,572	38,165	▲4,406	▲10.4	2,559	2,251	▲308	▲12.0
全社費用他 ※					▲1,966	▲1,994	▲27	—
連結営業利益					592	256	▲336	▲56.7

※全社費用は主に事業セグメントに属さない一般管理費

（単位：百万円）

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		連結会計年度	
	19/4～6	20/4～6	19/7～9	20/7～9	19/10～12	20/10～12	20/1～3	21/1～3	19/4～20/3	20/4～21/3
インキ事業	3,284	2,434	3,269	2,685	3,739	3,322	3,161	2,958	13,454	11,401
化成品事業	5,348	4,194	5,126	4,284	5,410	4,867	4,881	5,063	20,767	18,409
加工品事業	1,742	2,095	2,198	2,060	2,215	2,211	1,932	1,940	8,088	8,308
不動産賃貸事業	74	11	74	9	74	5	36	19	260	45
セグメント合計	10,450	8,736	10,669	9,040	11,440	10,407	10,012	9,981	42,572	38,165

21年3月期 セグメント利益 第1～第4四半期推移（前年対比）

（単位：百万円）

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		連結会計年度	
	19/4～6	20/4～6	19/7～9	20/7～9	19/10～12	20/10～12	20/1～3	21/1～3	19/4～20/3	20/4～21/3
インキ事業	34	▲22	47	▲53	129	179	86	104	298	208
化成品事業	439	215	375	150	436	316	283	409	1,534	1,092
加工品事業	80	258	110	227	265	276	150	183	607	946
不動産賃貸事業	39	7	35	▲5	30	▲8	14	10	120	4
セグメント利益	593	459	569	319	861	764	535	708	2,559	2,251
全社費用他	▲497	▲483	▲491	▲475	▲489	▲484	▲488	▲551	▲1,966	▲1,994
連結営業利益	96	▲24	77	▲155	371	279	46	157	592	256

(単位：百万円)

	20年3月期	21年3月期	増減額	増減率(%)
流動資産	24,903	25,655	751	3.0
固定資産	18,355	20,128	1,772	9.7
有・無形固定資産	12,706	14,636	1,929	15.2
投資その他	5,649	5,492	▲157	▲2.8
資産合計	43,259	45,783	2,523	5.8
流動負債	14,777	15,032	254	1.7
固定負債	4,580	5,533	953	20.8
負債合計	19,358	20,566	1,207	6.2
純資産合計 (自己資本比率)	23,901 (54.90%)	25,216 (54.74%)	1,315 (▲0.16%)	5.5 -
負債・純資産合計	43,259	45,783	2,523	5.8

(単位：百万円)

摘要	20年3月期	21年3月期	増減額
I.営業活動によるキャッシュ・フロー(A)	661	1,942	1,281
II.投資活動によるキャッシュ・フロー(B)	▲442	▲1,668	▲1,226
フリーキャッシュ・フロー(A+B)	218	273	55
III.財務活動によるキャッシュ・フロー	▲621	1,319	1,941
現金同等物の期首残高	1,869	1,576	▲292
現金同等物の期末残高	1,576	3,161	1,585

- 本資料は、投資家の皆様に会社内容の理解を深めて頂くための資料であり、投資勧誘を目的としたものではありません。
- 記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません
また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります
投資に関する決定は、ご自身のご判断と責任において行われるようお願い致します

TOKYOink

